

グリーン・イノベーションによる 豊かな低炭素社会創造

～ 大阪市のまちづくりの視点から ～

大阪市 計画調整局

科学技術振興担当部長 山口 あをい

1. 大阪市の概況

◆大阪市の概要



面積：約 222km² (全国比約0.06%)
昼間人口：約 358万人 (全国比約 2.8%)
夜間人口：約 266万人 (全国比約 2.1%)
GDP：約21兆4,700億円 (全国比約4.1%)



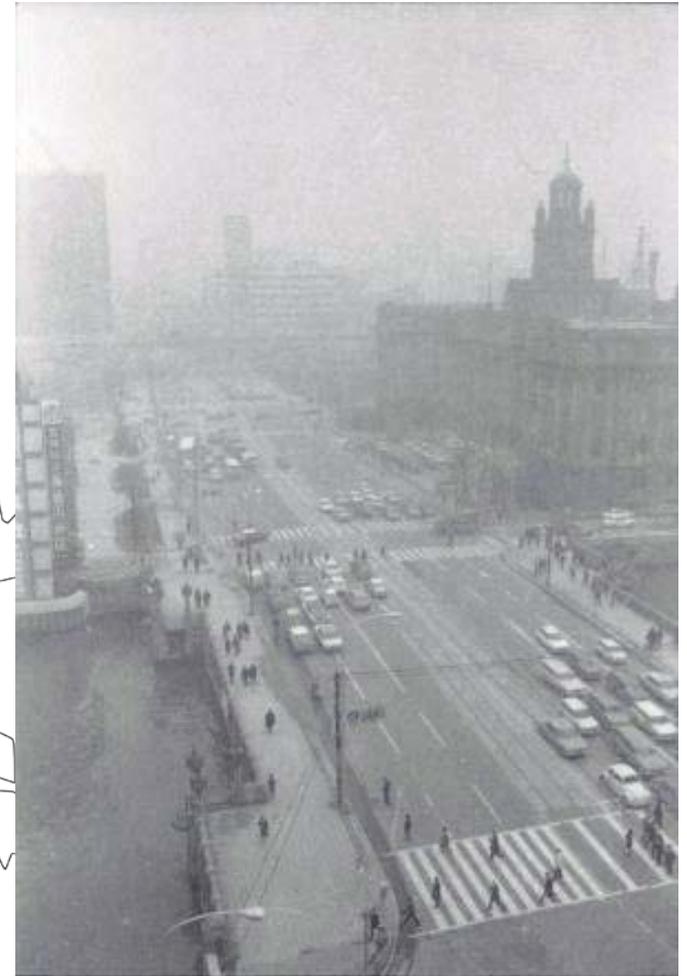
2. まちづくりの歴史と環境

◆まちづくりの歴史



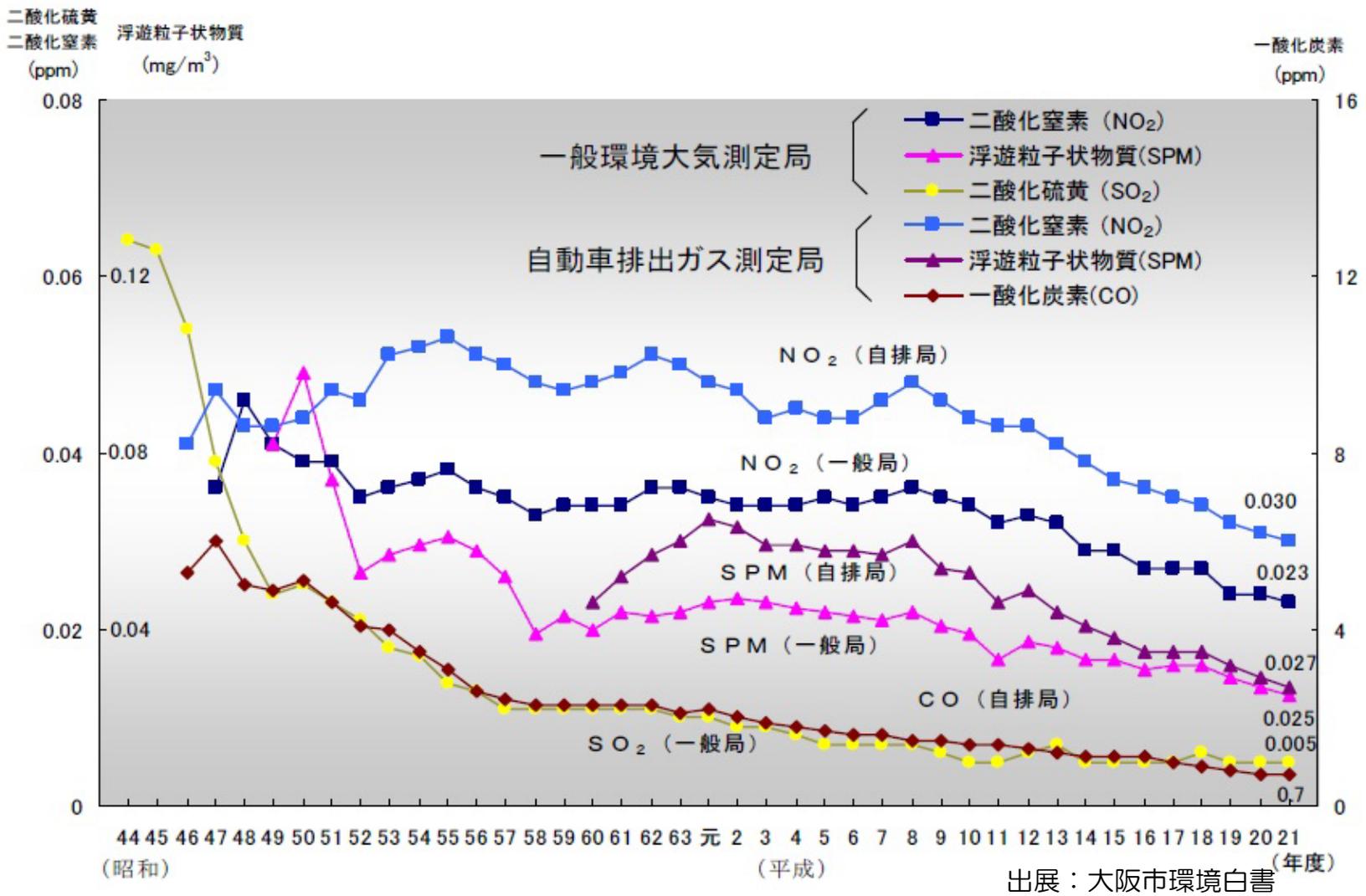
交通渋滞（昭和37年桜橋付近）

急速な都市化に対応したインフラ整備や公害などへの対策が急務となっていた。



スモッグ（昭和44年淀屋橋付近）

◆公害の克服

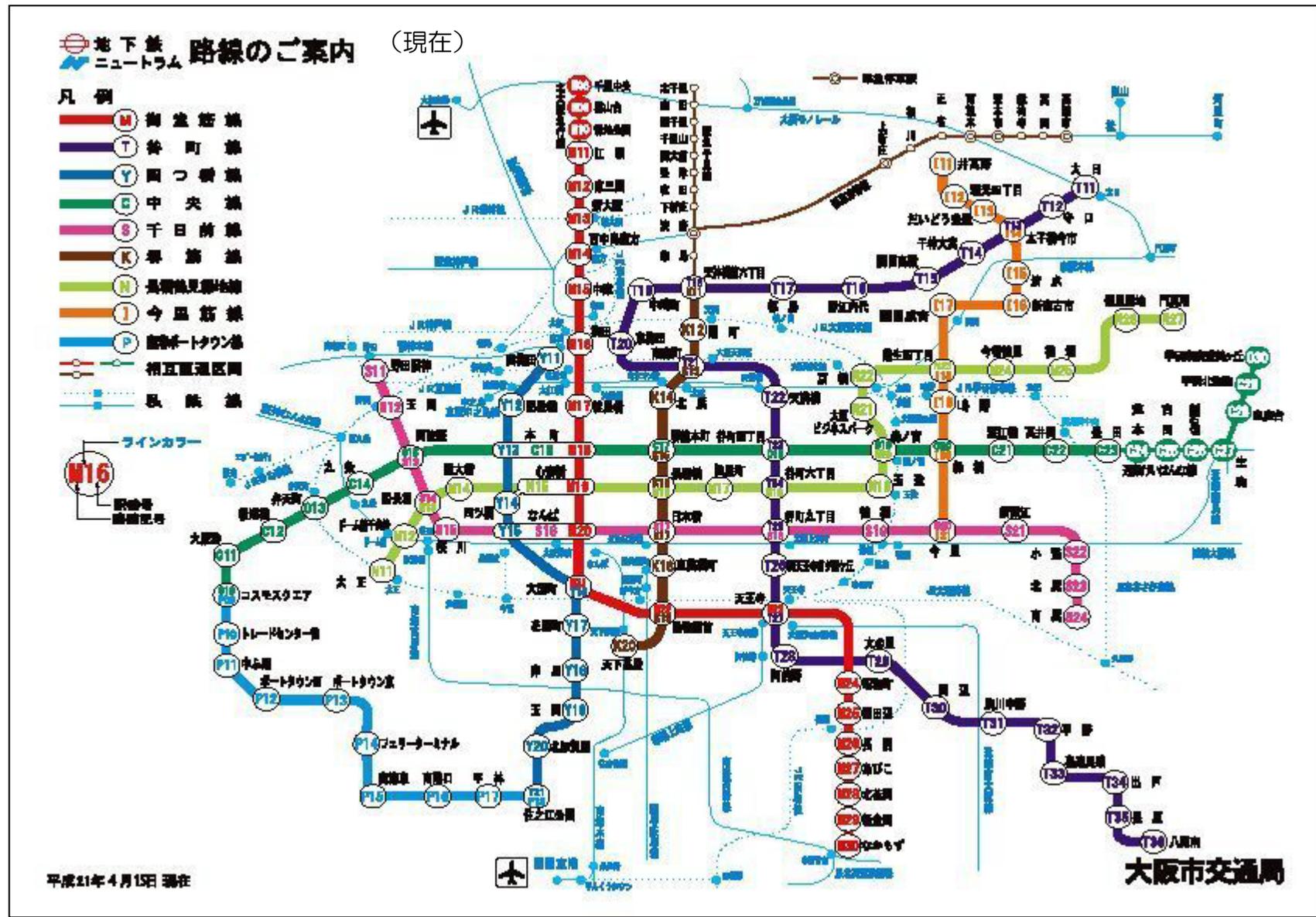


大気汚染は大幅に改善された

◆インフラ整備とコンパクトシティ



◆インフラ整備とコンパクトシティ

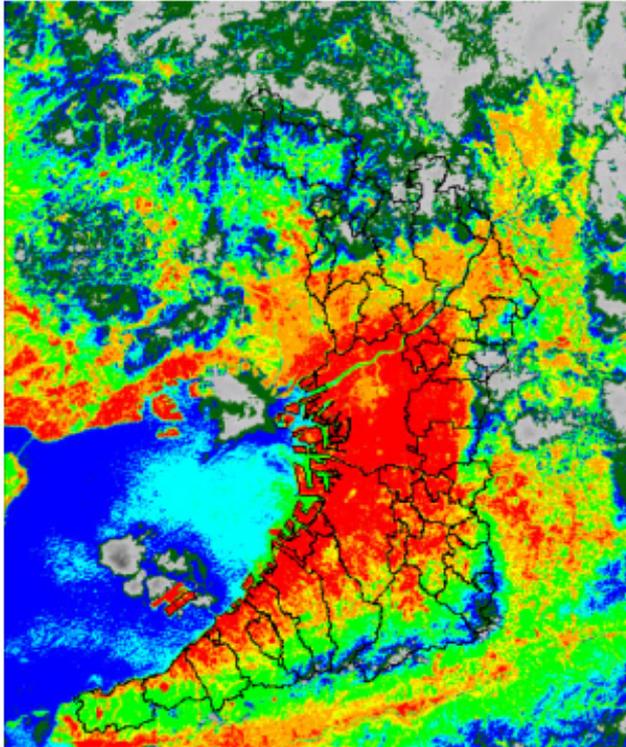


提供：大阪市交通局

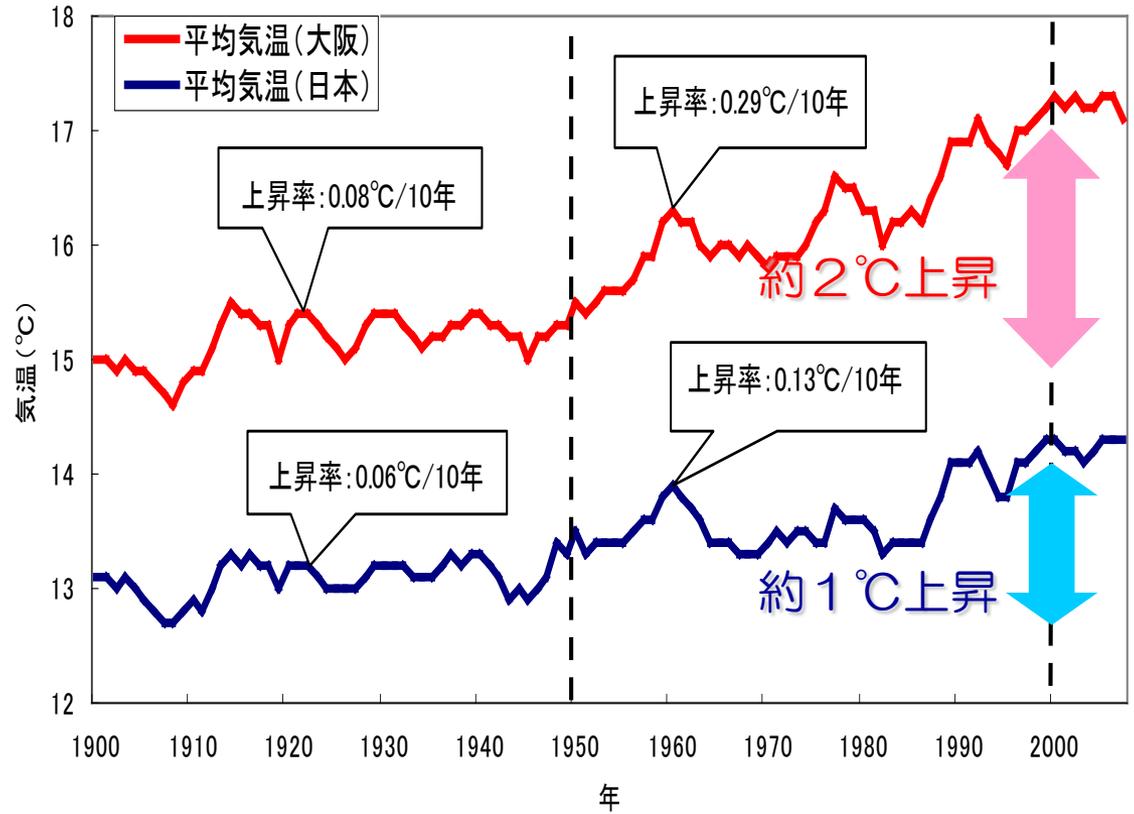
3. 都市の新たな課題

◆都市固有の温暖化現象

大阪府周辺地域の気温分布
(平成16年8月12日午前10時)



26.9 27.3 27.5 27.8 28.5 29 30 (°C)
(大阪府環境情報センター作成)

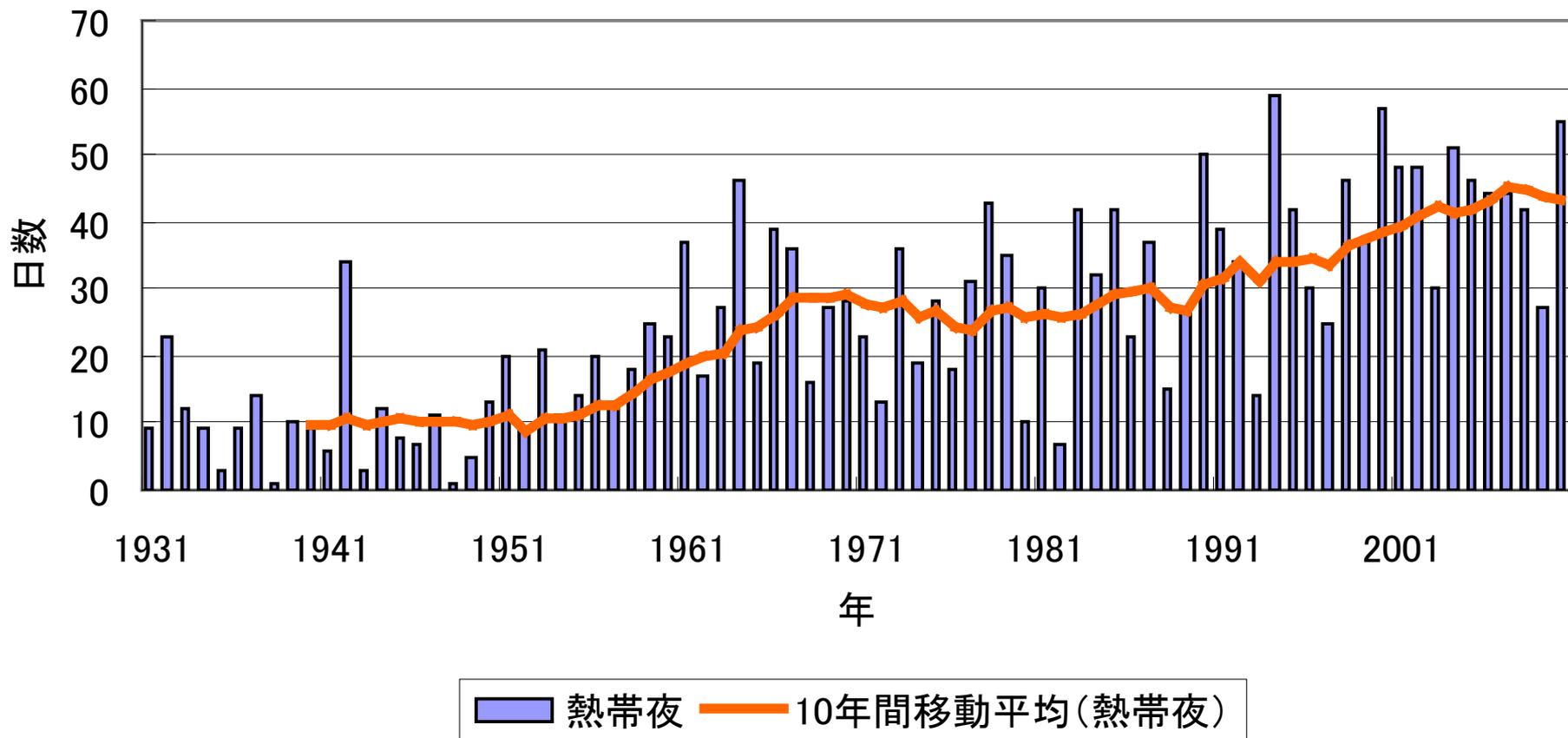


大阪では100年間で約2°C、平均気温が上昇

出典:大阪管区気象台、気象庁データより作成

◆ヒートアイランド現象

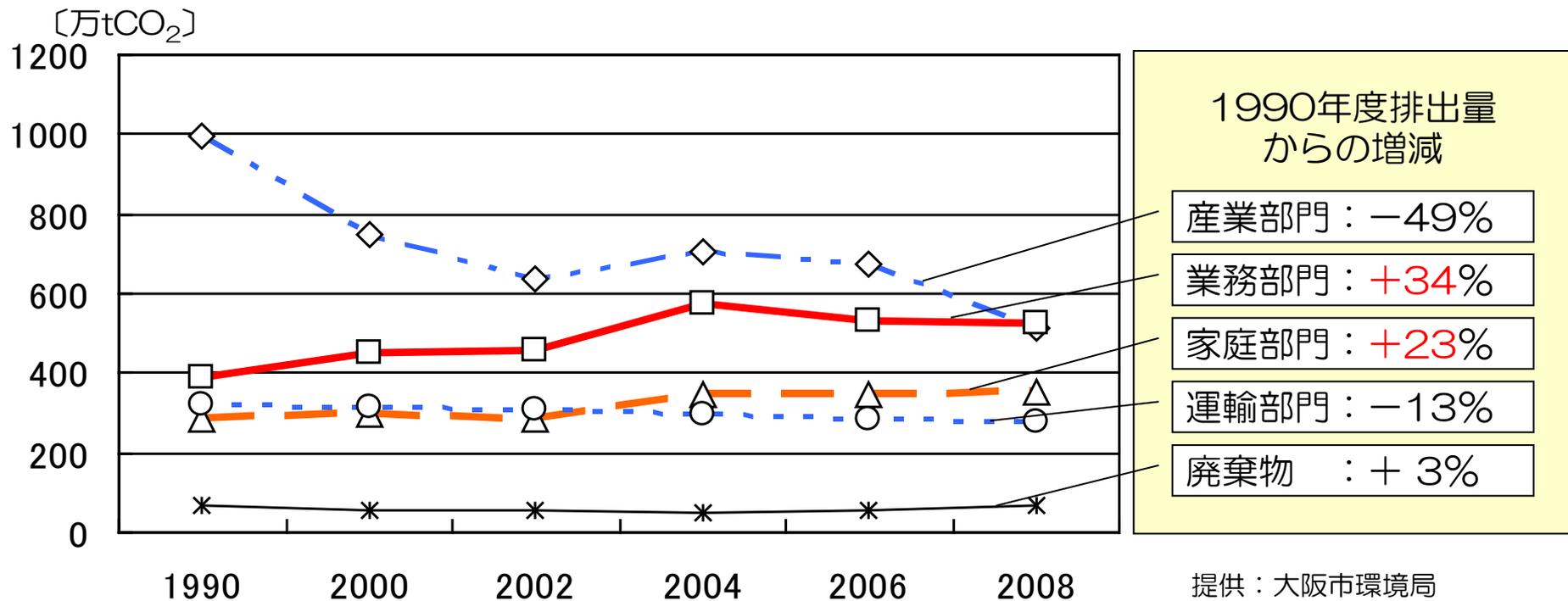
日最低気温が25℃以上（熱帯夜）の日数の推移 (大阪菅区気象台)



提供：大阪市環境局

◆二酸化炭素の増減

部門別CO₂排出量の変化

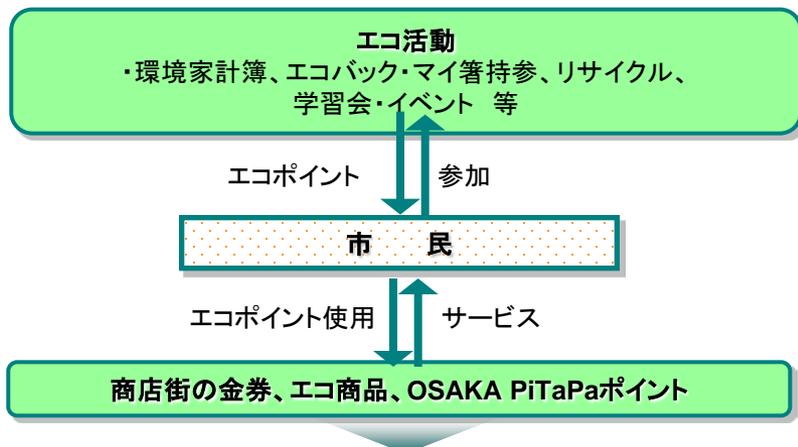


業務部門と家庭部門での排出量削減が必要

◆なにわエコポイント制度の創設

エコ活動に取り組む市民にポイントを付与し、「OSAKA PiTaPa」カードにチャージする。チャージされたポイントにより、市営交通の運賃割引サービス等を受けることができる。

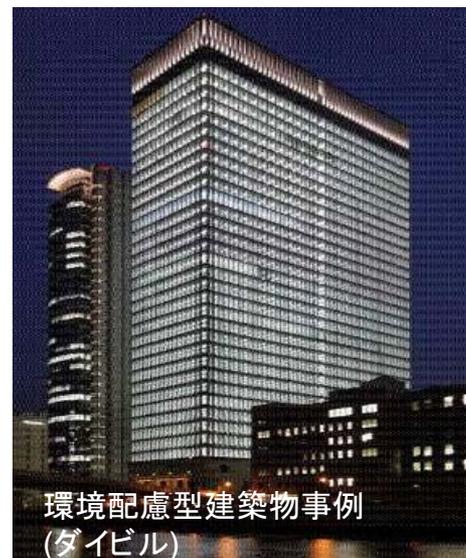
なにわエコポイント制度イメージ



エコ活動の活性化、地域経済の活性化

◆CASBEE大阪みらいの創設

建築物の環境配慮を総合的に評価する「CASBEE大阪」において、届出対象を拡大し、新築建築物におけるCO2削減・省エネ対策の強化・充実や、既存建築物における省エネ化の促進を図る。



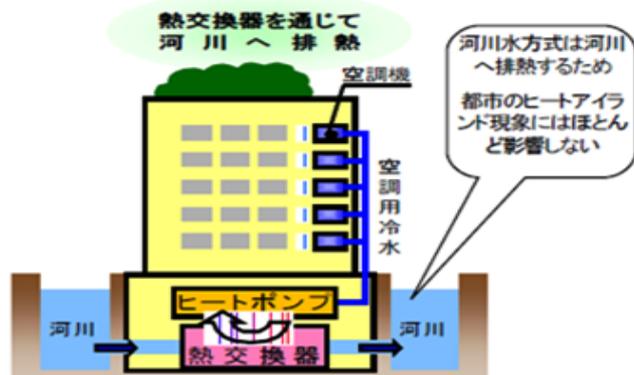
市民、企業の環境活動を支援

◆未利用エネルギーの活用促進

河川水の有効利用



河川水利用方式 / 冷房時



ごみ焼却工場の焼却余熱利用

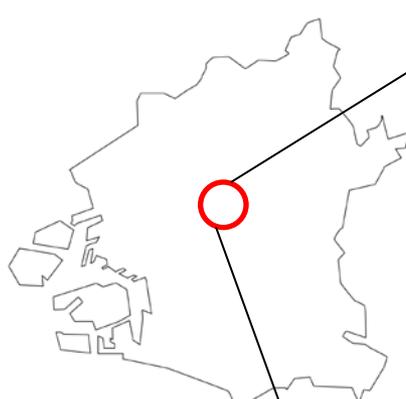


下水処理場の消化ガス利用

様々な取り組みをしているが、特効薬はない

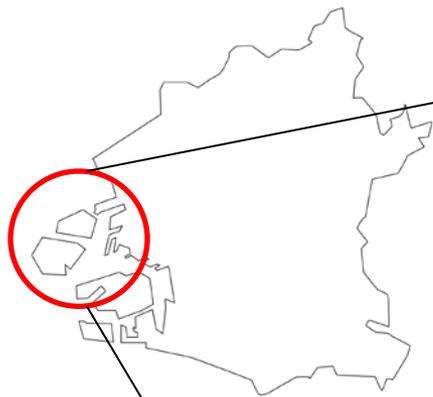
4. 新しいまちづくりと社会に開かれた研究の推進

◆森之宮地区



森之宮工場建替イメージ
(写真は東淀工場)

◆ 夢洲・咲洲地区



夢洲1区メガソーラー
イメージ



-  スマートコミュニティーネットワークのシステム構築
-  環境産業クラスターの形成

◆うめきた地区



2期開発区域（約17ha）

ナレッジ・キャピタル
ゾーン（2）

ナレッジ・キャピ
タル・ゾーン

先行開発区域（約7ha）
（平成25年春まちびらき予定）

やすらぎの
ゾーン

ゆとりの
ゾーン

よそおいの
ゾーン

ひろがりのゾーン

ふれあいの
ゾーン

北口広場

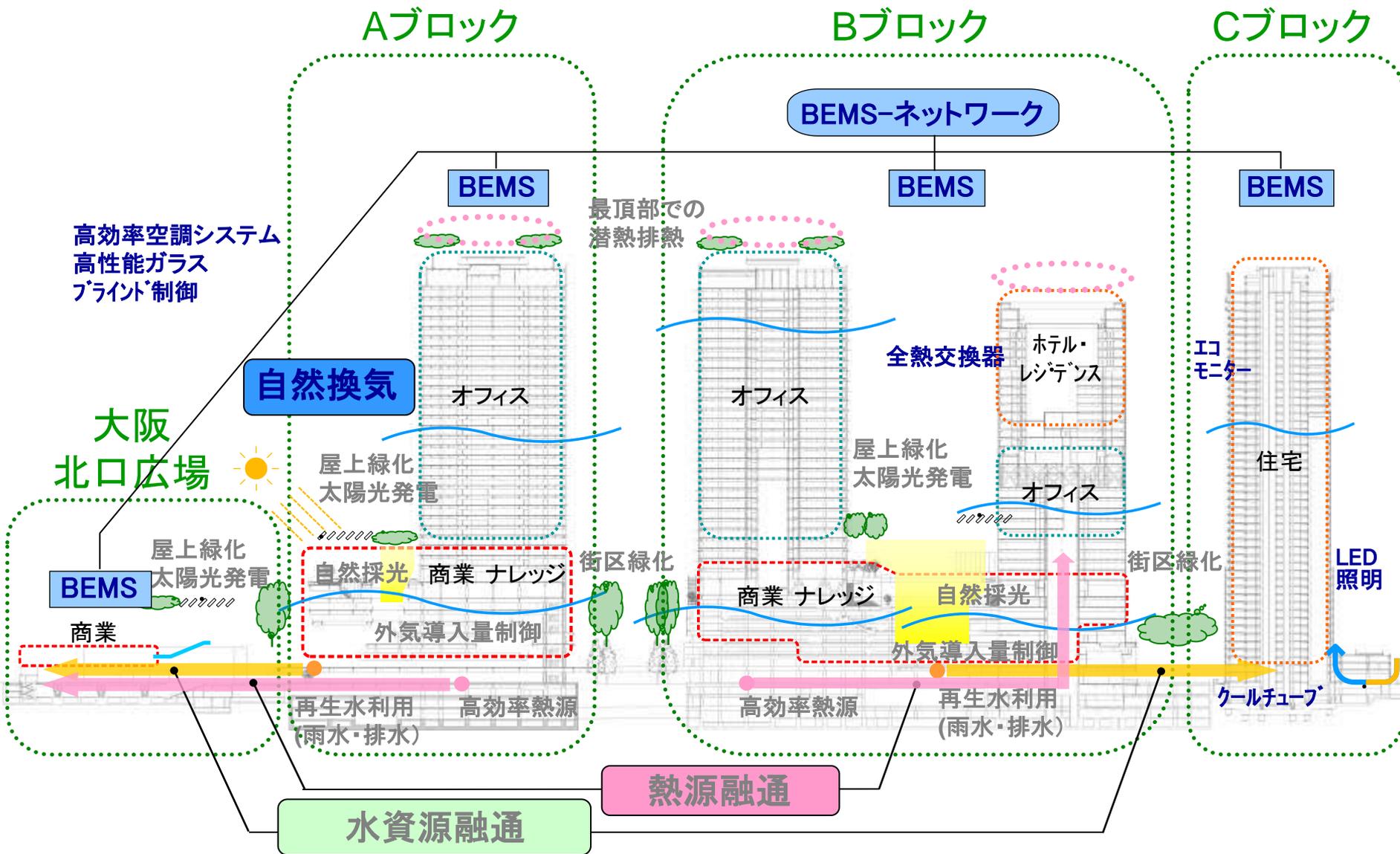
JR大阪駅

西口広場



北口広場イメージ

うめきた先行開発区域の建築計画



環境ショーケースとして、各所にちりばめた省CO2手法

◆うめきたでの取り組みによる新技術・新産業の創出

あつまる

つくる

みせる

まじわる

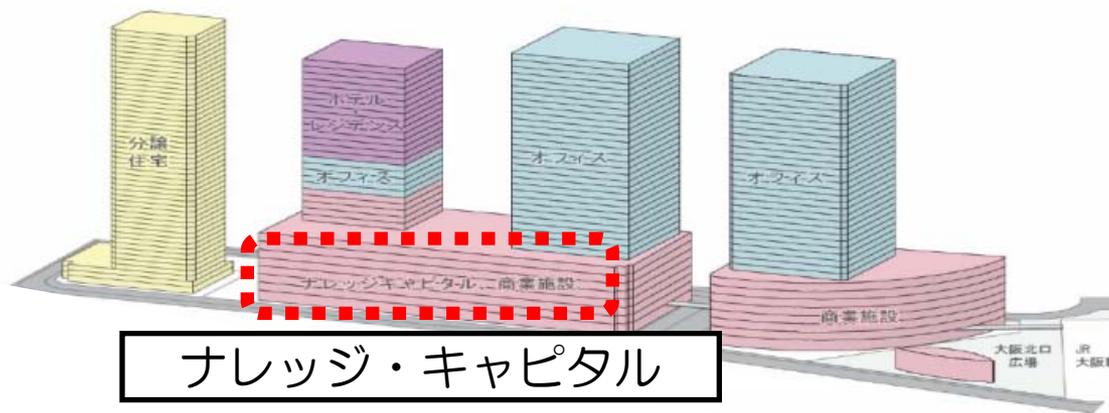
情報発信

アジア・世界
国内

集積

産学官

資金・人材・知財
特区、規制緩和など



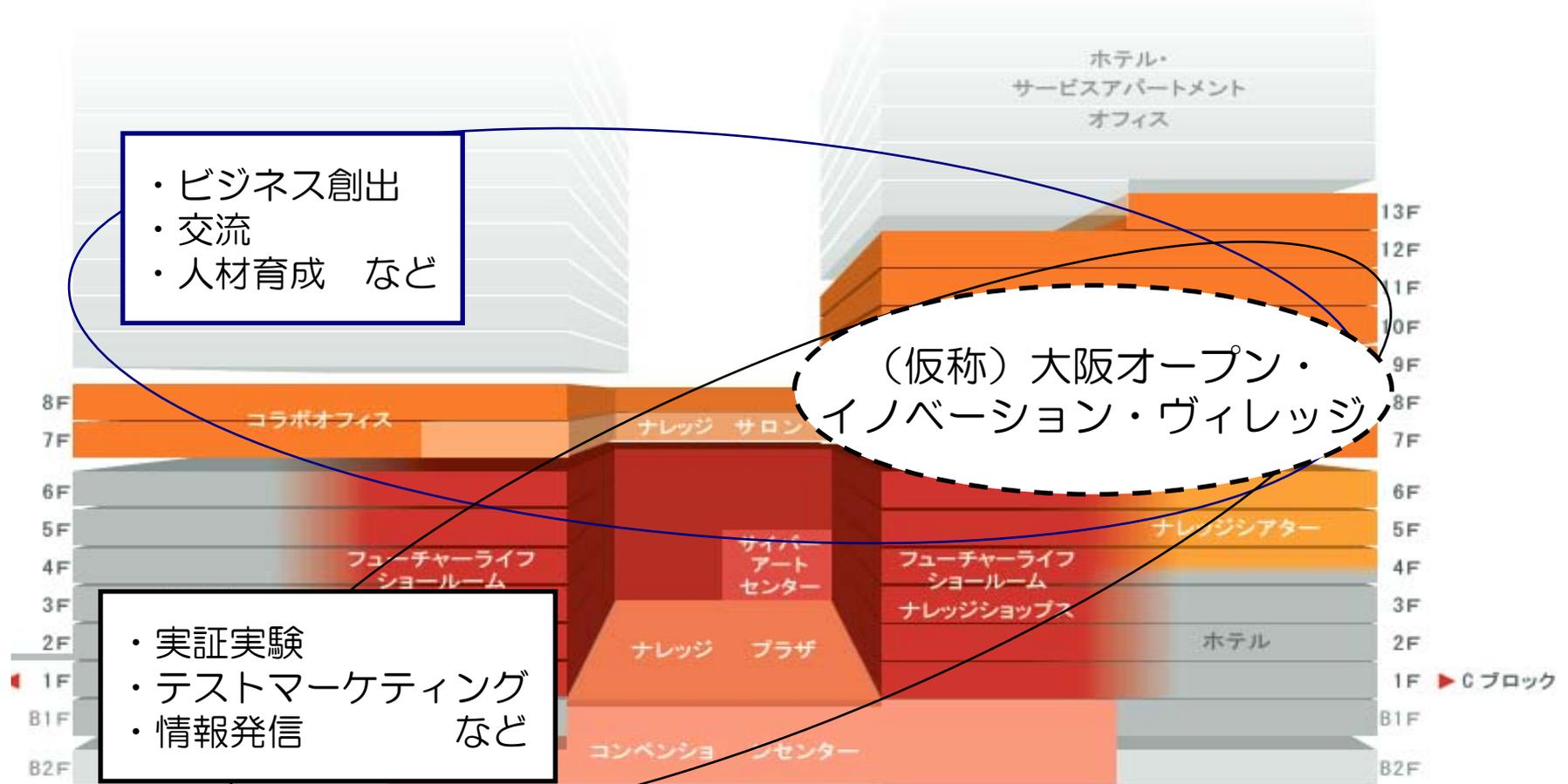
ユーザー

ニーズ・利用情報・
生活情報など

(仮称)大阪オープン・イノベーション・ヴィレッジ (大阪市)

「発信」「創造」「交流」という知的創造のメカニズムにより
新技術・新産業が生まれる

◆うめきたにおけるナレッジ・キャピタルの形成



ナレッジ・キャピタル
【「うめきた」（大阪駅北地区）先行開発区域 Bブロック】

（仮称）大阪オープン・イノベーション・ヴィレッジの機能

（仮称）大阪オープン・イノベーション・ヴィレッジ

ニーズ情報

シーズ情報

国内外の
市場動向情報

イノベーション・デザイン

可視化技術の
開発・活動促進

イノベーション支援機能

ライフイノベーション
分野

グリーンイノベーション
分野

新製品・新サービスの
創出

新市場の創出

ユーザー、企業、
大学・研究機関が
協働する場

テストマーケティング
や実証実験の場

国内・海外に
取組み事例、
モデルや成果
を発信

企業、大学・研究機関
等からの人材の集積

参加・連携による
新製品・新サービス開発

ユーザー

企業

大学・研究機関

まとめ ～豊かな低炭素社会の実現に向けて～

・コンパクトシティの実現

公共交通を中心とする高齢者が移動しやすいまち、歩いて暮らせるまちづくりによって、移動手段の低炭素化と高齢者の社会参加を促進し、元気な高齢社会を実現

・エネルギーの地産地消の促進

地域の未利用エネルギーを積極的に活用できる制度や、省エネルギー設備の導入を促進する制度の創設等により多様なエネルギー源を確保

・オープン・イノベーションによる開発力の向上

地域の強みを生かし、業種・分野を超えた共同開発を促進するとともに、開発にユーザーニーズを取り込む仕組みを構築し、地域から豊かな低炭素社会を実現

ご清聴ありがとうございました。